

作成日:2011年10月 31日
(前回作成日:2011年 7月 29日)

アセット トライ

期間運用報告書

自:2011年 7月 1日

至:2011年 9月30日

作成者 : AT ADMINISTRATION (GAYMAN) LIMITED

交付者 : 岡藤商事株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川2-12-16
コールセンター 電話 0120 (33) 7639

A. ファンドの状況

1. 資産推移(販売、解約の状況)

単位:千円

計算期間 *1	前期末*2		期中解約			期中販売			期中損益	期末	
	口数	総純資産	件数	口数	総額*3	件数	口数	総額*4		口数	総純資産
1999/2/1～ 1999/5/31	720.000000	720,000	0	0.000000	0	43	72.791622	70,000	-49,491	792.791622	740,509
1999/6/1～ 2000/5/31	792.791622	740,509	47	84.050664	78,704	52	125.839074	114,000	23,212	834.580032	799,018
2000/6/1～ 2001/5/31	834.580032	799,018	40	114.758743	129,155	8	8.087742	9,000	136,727	727.909031	815,593
2001/6/1～ 2002/5/31	727.909031	815,593	31	44.387643	51,035	80	138.652441	161,000	-52,980	822.173829	872,581
2002/6/1～ 2003/5/31	822.173829	872,581	53	215.272753	286,590	82	132.339191	175,000	355,308	739.240267	1,116,301
2003/6/1～ 2004/5/31	739.240267	1,116,301	24	31.843891	45,639	192	306.840111	453,000	-108,750	1,014.236487	1,414,915
2004/6/1～ 2005/5/31	1,014.236487	1,414,915	45	62.586487	88,110	322	418.237374	582,000	116,320	1,369.887374	2,025,127
2005/6/1～ 2006/5/31	1,369.887374	2,025,127	95	461.930128	734,344	444	732.904334	1,226,000	345,645	1,640.861580	2,862,430
2006/6/1～ 2007/5/31	1,640.861580	2,862,430	159	326.531143	540,296	398	580.581296	973,000	347,531	1,894.911733	3,386,437
2007/6/1～ 2008/5/31	1,894.911733	3,386,437	224	332.721437	662,243	0	0	0	846,967	1,562.190296	3,571,161
2008/6/1～ 2009/5/31	1,562.190296	3,571,161	159	245.328954	551,663	0	0	0	-95,545	1,316.861342	2,922,718
2009/6/1～ 2010/5/31	1,316.861342	2,922,718	74	104.247836	210,683	0	0	0	-215,920	1,212.613506	2,496,116
2010/6/1～ 2010/6/30	1,212.613506	2,496,116	4	3.225938	6,574	0	0	0	27,534	1,209.387568	2,517,076
2010/7/1 2010/9/30	1,209.387568	2,517,076	87	126.789806	276,394	0	0	0	172,790	1,082.597762	2,413,472
2010/10/1～ 2010/12/31	1,082.597762	2,413,472	39	40.907523	91,204	0	0	0	82,087	1,041.690239	2,404,355
2011/1/1～ 2011/3/31	1,041.690239	2,404,355	14	16.55368	36,949	0	0	0	-151,722	1,025.136559	2,215,684
2011/4/1～ 2011/5/31	1,025.136559	2,215,684	11	25.446358	55,722	0	0	0	107,443	999.690201	2,267,404
2011/6/1～ 2011/6/30	999.690201	2,267,404	50	62.890598	141,216	0	0	0	-37,434	936.799603	2,088,754
2011/7/1 2011/9/30	936.799603	2,088,754	30	68.791157	152,510	0	0	0	31,666	868.008446	1,967,910
累計	—	—	1,186	2,368.264739	4,139,031	1,621	2,516.273185	3,763,000	1,881,386	—	—

注: *1 運用開始日は1999年2月1日です。

*2 運用開始時の前期末口数・総純資産は、初回販売口数・総純資産となっております。

*3 期中解約総額は、解約手数料が差し引かれております。

*4 期中販売総額には、販売手数料が含まれておりません。

2. 運用実績推移(1口当たり)

単位:円

計算期間 *1	前期末 純資産	期中損益	期末 純資産*2	期間 騰落率	運用開始来 騰落率*3	年平均 騰落率
1999/2/1～ 1999/5/31	1,000,000	-65,947	934,053	-6.59%	-6.59%	—
1999/6/1～ 2000/5/31	934,053	23,337	957,390	2.50%	-4.26%	-3.21%
2000/6/1～ 2001/5/31	957,390	163,070	1,120,460	17.03%	12.05%	5.17%
2001/6/1～ 2002/5/31	1,120,460	-59,150	1,061,310	-5.28%	6.13%	1.84%
2002/6/1～ 2003/5/31	1,061,310	448,756	1,510,066	42.28%	51.01%	11.78%
2003/6/1～ 2004/5/31	1,510,066	-115,011	1,395,055	-7.62%	39.51%	7.41%
2004/6/1～ 2005/5/31	1,395,055	83,262	1,478,317	5.97%	47.83%	7.55%
2005/6/1～ 2006/5/31	1,478,317	266,151	1,744,468	18.00%	74.45%	10.15%
2006/6/1～ 2007/5/31	1,744,468	42,653	1,787,121	2.45%	78.71%	9.45%
2007/6/1～ 2008/5/31	1,787,121	498,875	2,285,996	27.92%	128.60%	13.78%
2008/6/1～ 2009/5/31	2,285,996	-66,539	2,219,457	-2.91%	121.95%	11.80%
2009/6/1～ 2010/5/31	2,219,457	-160,998	2,058,459	-7.25%	105.85%	9.34%
2010/6/1～ 2010/6/30	2,058,459	22,822	2,081,281	1.11%	108.13%	9.47%
2010/7/1 2010/9/30	2,081,281	148,053	2,229,334	7.11%	122.93%	10.54%
2010/10/1～ 2010/12/31	2,229,334	78,795	2,308,129	3.53%	130.81%	10.97%
2011/1/1～ 2011/3/31	2,308,129	-146,774	2,161,355	-6.36%	116.14%	9.55%
2011/4/1～ 2011/5/31	2,161,355	106,751	2,268,106	4.94%	126.81%	10.28%
2011/6/1～ 2011/6/30	2,268,106	-38,436	2,229,670	-1.69%	122.97%	9.90%
2011/7/1 2011/9/30	2,229,670	37,485	2,267,155	1.68%	126.72%	10.00%
累計	—	1,267,155	—	—	—	—

注: *1 運用開始日は1999年2月1日です。

*2 期末純資産は、1口当たりの表記となっておりますので、お客様の保有口数を乗じた金額がお客様の保有する口数に対する時価となります。

*3 運用開始来騰落率は、運用開始日の1口当たり純資産価額100万円を基準として算出されています。

* パーセンテージの計算は小数点以下第3位を四捨五入しています。

注: 1) 純資産は、契約締結前交付書面2. 13項に基づいて算出されております。

2) 期間騰落率及び運用開始来騰落率、年平均騰落率の計算方法は、次の通りとなっております。

なお、すべて1口当たりの価額にて算出しております。

① 期間騰落率

$$= \frac{\text{期末純資産(期中配当含む)} - \text{期初純資産}}{\text{期初純資産}} \times 100$$

② 運用開始来騰落率

$$= \frac{\text{期末純資産(期中配当含む)} + \text{前期末までの配当累計} - \text{運用開始時純資産}}{\text{運用開始時純資産}} \times 100$$

③ 年平均騰落率(設定時より1年以上経過した場合のみ記載。)

$$= \text{運用開始来騰落率} \div (\text{運用日数(片端落し)} / 365)$$

B. ファンドの概況

先物顧問運用会社による運用状況

プラスに寄与したセクター	金利	金属	その他商品	
マイナスに寄与したセクター	通貨	株価指数	エネルギー	穀物

主要国の短期金利は、ユーロが7月の利上げを受け一旦上昇しましたが、8月にスイスがフォワード市場への介入により一時マイナス金利になると、ユーロ圏も低下しました。一方で、9月にかけて全般にドル買い傾向が強まったことから、ドル金利は緩やかながら上昇傾向。円金利は低水準での横ばいが続きました。長期金利は、欧州債務問題がギリシャ以外の南欧諸国へ拡大する懸念が強まり主要国の株価が連鎖安となる一方、質への逃避で米国、ドイツ、英国などの債券を買う動きが強まり、全般に低下傾向となりました。8月初旬には格付け会社が米国長期債の格下げを発表したものの、影響は目立たませんでした。

主要国の株価指数は、欧州の債務問題がギリシャから拡大する懸念が上値を抑えるなか、米国でも7月下旬には米国の債務上限引き上げを巡る与野党の協議が難航し、8月初旬にかけて欧米株主導で全般に急落しました。8月には一旦下げ止まり、ギリシャへの金融支援についての動きで短期的な上下動が見られたものの、おおむね横ばい推移となりました。ただ、次第に欧州の金融システムへの不安が強まるなか、米国でも9月に金融当局が経済見通しについて下方リスクを示し、中国など成長国市場にも次第に景気減速懸念が拡大。金融市場全般にリスク回避の動きが強まり、期末にかけては欧州、エマージング市場を中心に連鎖安となりました。

原油相場は、7月下旬に100ドルを回復したものの、米国の債務上限引き上げ問題に伴い、米国債が初めて格下げとなったことを嫌気し、75ドル台へ急落しました。ただ8月中旬以降は米金融当局の追加金融緩和への期待が高まり、下値を切り上げながら一時90ドルを回復しました。欧州の債務問題で先行きが不透明ななか、9月の米連邦公開市場委員会(FOMC)を受けて、株価が急落し原油相場もつれ安となりました。NY市場の石油製品は原油相場と同様の動きとなるなか、8月中旬はハリケーンの影響で石油施設が操業を停止したことで急反発しました。ただ期末にかけては需要減少見込みから急落しました。

金相場は、当初の1,500ドルから上昇しました。欧州の債務問題による金融システムへの不安や、米国での債務上限引き上げ問題などで質への逃避買いが強まり、9月前半には1,920.3ドルの最高値を更新。ただ、その後は金融市場全般にリスク回避の動きが強まると、金相場も一時1,600ドル割れへ急落しました。国内では、4,000円水準から4,700円超えへの上昇を経て、4,000円割れへ反落しました。銀、白金相場は金に追随高となったものの、銀は44ドル水準への上昇を経て30ドル割れへ、白金は1,900ドルへの上昇を経て1,500ドル割れへそれぞれ反落。9月後半は、景気減速による産業向け需要の減少も見込まれ、急な下げになりました。

穀物相場は、7～8月に高温乾燥した天候が続く作柄に悪影響を与えるとの懸念で8月末にはトウモロコシは765.50セント、大豆は1,456.00セントへ上昇しました。9月に入ると米国産地は収穫期となり、農家の売り圧力で上値が抑えられるなか、国際商品市況全般の下落に追随し月間を通して下落基調となりました。また、9月末に発表された米国内の四半期在庫でトウモロコシ・小麦の需要減少が示されると、トウモロコシは592.50セントへ急落、大豆も1,179.00セントまで追随安となりました。

添付資料

A. 1. 資産推移

